学位記授与式
特集号

日本工業大学 通信
NIPPON INSTITUTE OF TECHNOLOGY
第205号

編集・発行
日本工業大学
広報室
〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1
☎(0480)34－4111(代)
http://www.nit.ac.jp

平成29年（2017年）3月20日発行

学位取得 おめでとうございます

自分の頭で考え意志をもって進め

学長
成田 健一

卒業おめでとう。晴れて卒業の日を迎えた皆さんに、心からお祝いの言葉を贈ります。

皆さんが入学した2013年は、日本のスマートフォン普及率が6割を超え、1月にはLINEの利用者が世界で1億人を突破したという年でした。「不確実性の時代」に突入したという世界中の人々の不安を増幅させています。今後、皆さんが船出する日本の社会はどうなっていくのでしょう。

AIの進化とロボット技術の普及で、今ある多くの仕事が近い将来無くなると予想されています。また、急速に進む高齢化は、皆さんたち若い世代に大きな負担としてのしかかってくるとも言われています。そんな暗い未来予測が蔓延する時代ですが、私は決して悲観的には思っていません。

社会の変化は、必ず新しい技術のニーズを生みます。これからの高齢化社会も、今のように社会保障制度に全面的に頼るのではなく、一人ひとりが自分のできることで地域のお年寄りをサポートしていく、多職種連携による地域包括ケアシステムという、明るい社会の選択も可能なのです。そこには、支援のための様々な技術開発も必要となり、皆さんの活躍の場も広がっているはずです。

未来の社会の有り様は我々の意志の集合です。どういう社会を創りたいのか、そういう意志を持たなければ何も始まりません。時代に流されない意志、それは自分の頭で考えないと決して得られません。

「悲観主義は気分によるものであり、楽観主義は意志によるものである」これはアランの『幸福論』の最後のプロポにある言葉です。皆さんが、自らの頭で考え、強い意志を持って、すばらしい日本の未来づくりに貢献してくれることを、心から願っています。

皆さんは大学生活の4年間、諸刃の剣であるこれらのITツールを、上手に使いこなしてくれたでしょうか。

さて昨今のニュースでは、数か月前には予想もできなかったような出来事が連日伝えられています。数々の大統領令、それに翻弄される人々の姿は、ご卒業のみなさん、おめでとうございます。ご家族のみなさま、お慶び申し上げます。

新たな旅立ちに向けて様々な視点で蘇らせる。例えば最近はカセットテープに若者の視線が注がれ、旧世代を驚かせています。レコードはすでに蘇っています。また、寂れた街を若者たちが新たな価値を与え、賑わいを蘇らせています。

会社や組織からの評価を待つだけでなく、みなさん自身が見い出した価値を社会に届ける担い手であることを忘れずにいてください。よき出発を祈念して、私からのはなむけの言葉といたします。

新たな旅立ちに向けて

理事長
柳澤 章

新たな旅立ちに向けて期待と不安とが交差する。今はそんな中にあるのかもしれません。みなさんが日本工業大学で日々積み重ねてきたことは、技術の理論の探究とともに、実習、製図、製作などにじっくりと取り組むことでした。その誠実な姿勢は社会にとって価値ある資質にほかならないのです。Honest is the best policy.です。

そうした仕事ぶりを組織のキーパーソンは見逃しません。松下幸之助は「当社は人を作る会社です。あわせて電気器具も作っています」と語ったといいます。後にパナソニックとなる会社の創業者です。人材は貴重な資源です。

私たちの学園は今年、創立110周年を迎えました。明治40年に東京工科学校として開校し、幾多のエンジニアを育成してきました。松下幸之助の右腕となり日本の家電を切り拓いた技術者の中尾哲二郎はみなさんの先輩にあたります。また、みなさんの多くが知っているであろうクリエイターの円谷英二も東京工科学校に学びました。

日本工業大学は50周年を迎えます。4月には半世紀目の新入学生がエンジニアの良き資質を引き継ぐでしょう。

さて今日、AI、IoTが急激に進むなど、技術や社会の変化が加速化しています。それは技術者にとって脅威である一方で、好機ととらえることができます。持てる技術を従来とは異なる視点から世に問うてみる、あるいは、終わった、衰退したと思われていた技術・製品を新たな視点で蘇らせる。例えば最近はカセットテープに若者の視線が注がれ、旧世代を驚かせています。レコードはすでに蘇っています。また、寂れた街を若者たちが新たな価値を与え、賑わいを蘇らせています。

会社や組織からの評価を待つだけでなく、みなさん自身が見い出した価値を社会に届ける担い手であることを忘れずにいてください。よき出発を祈念して、私からのはなむけの言葉といたします。

専門職大学院だより

イノベーションの場としての都市

大学院技術経営研究科・教授　西尾　好司

昨年末のバルセロナ出張時、郊外の公立図書館を訪問しました。その1室で小学生が3Dプリンター（3DP）や大学が開発した教育アプリを利用していました。この部屋での活動のリーダーは大学のコンピュータ科学者ですが、地域住民のリーダー達も子供達の指導のため参加します。3DPを小学生が使っていることに少し驚きましたが、翌日同市幹部の講演を聴き、それがイノベーション政策と関連することを知りました。

同市はモビリティ、エネルギー、健康福祉など、社会・地域課題の解決に向け、企業や大学など多様な組織が連携してサービスの開発・実験を行い、市民の積極的な参加も推進し、イノベーションの場になることを目指しています。そのため、様々なデジタル技術を市民が活用できるようにして（デジタル技術の民主化）、創造的な人材を増やしたいと強調しており、公立図書館の活動もこの政策の一貫でした。

都市は、住みやすさ、働きやすさだけでなく、具体的な課題解決策を実験するイノベーション活動のしやすさも、重要な魅力になります。特に重要なのは、技術ではなく解決策を実験する場であることです。また、図書館の例で地域住民が参加したように、コミュニティの形成も重要な目的になります。

このような取り組みは、人口規模に関係なく、様々な地域で行われています。みなさんも実験室から外に出て、例えば、東武動物公園駅ホームからキャンパスまでの範囲をイノベーションの場とするために、どのようにすればよいか考えてみてはいかがでしょうか。

カレッジマイスターに70名認定

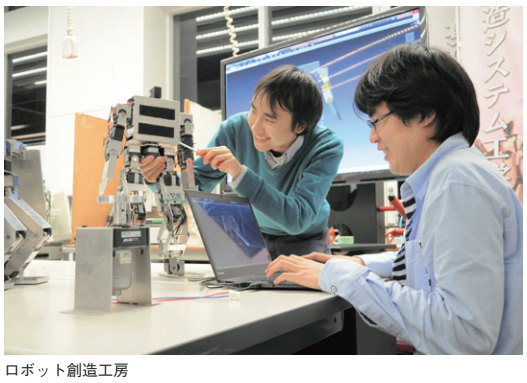
ものづくりの現場で活躍を期待

本年度のカレッジマイスターエクセレントには、生産現場のリーダーに求められる素養を身に付けた者として34名が認定され、学位記授与式において認定証とゴールドメダルが授与される。今後は工房で身に付けた、ものづくりにおける高い総合力を発揮し、社会に大きく貢献することが期待される。

プライマリーには、本学の実工学教育におけるものづくりの基礎を徹底的に学んだ者として36名が認定され、4月の各学科のオリエンテーションにおいて認定証が授与される。その積極的姿勢とものづくりにおける基礎力を活かして自らの能力を一層高め、実工学を学ぶ者の模範として益々の活躍が期待される。

■エクセレント
機械加工工房（9名）、型技術工房（6名）、フォーミュラ工房（6名）、モノ創りデザイン工房（3名）、ロボット創造工房（3名）、マイクロ・ナノ工房（5名）、マイコン応用回路工房（1名）、2×4木造建築工房（1名）

■プライマリー
フィジカルコンピューティング工房（4名）、物理体感工房（3名）、ものづくり入門工房（29名）



ロボット創造工房

50周年記念マーク完成

大学の理念である「実工学」を表現しつつ、次の50年に向けてしなやかに躍動するロゴマークを公募。国内外から394件もの作品が集まった。2度の選考を経て最優秀賞1点、優秀賞2点、入賞3点を選出。最優秀作品は公式記念ロゴとして大学案内や各種媒体等で使用し、大学の新たな展開に活用される。

50th Anniversary
NIPPON INSTITUTE OF TECHNOLOGY
日本工業大学 設立50周年

最優秀賞作品　渡邊健さん（大阪府）

平成二十八年度 卒業生一覧

3月20日付確定者

早期卒業

機械工学科

ものづくり環境学科

創造システム工学科

電気電子工学科

情報工学科

平成28年度　学長賞受賞者

先の選考委員会を経て、平成28年度学長賞の対象学生が決定した。本賞は毎年、優秀な卒業生に対し授与され、今年度は大学院生2名、学部生15名が選ばれた。

工学部

学　科	氏　名	出身校
機械工学科		
ものづくり環境学科		
創造システム工学科		
電気電子工学科		
情報工学科		
建築学科		
生活環境デザイン学科		

大学院工学研究科

環境共生システム学専攻	
電子情報メディア工学専攻	

建築学科

生活環境デザイン学科

大学院工学研究科修了生

●博士前期課程

●博士後期課程

大学院技術経営研究科修了生（予定）

●専門職学位課程

学長と学生代表の懇親昼食会

昼食会は学長と学生自治会各委員会代表が意見交換を行う場であり、今年は1月18日に実施された。成田学長、竹内学生支援部長、吉見学生支援課主事、学生代表として高橋中央執行委員長以下7名の委員長（代理含む）が出席した。

学生たちは学長を前にやや緊張した面持ちであったが、幕の内弁当をとりながら自己紹介を行い、委員会の活動内容や所属人数について説明、学長からの質問に答えた。中には人手不足が深刻な委員会もあり、募集活動の工夫や他委員会からの協力体制の確立が今後の課題とされた。このほか、授業間の休み時間の拡大について要望があったが、大学側は、授業終了時刻の関係で現状では難しいと理解を求めた。最後に学長が「この会をきっかけとして、要望があれば今後も気軽に相談してほしい」と締めくくった。

キャンパスベンチャーグランプリ東京大会
りそな銀行賞受賞

表彰式に出席した設楽さん（右）と原さん

11月29日、2016年度キャンパスベンチャーグランプリ東京大会（日刊工業新聞社主催）において、本学大学院のチームが特別賞「りそな銀行賞」を受賞した。受賞メンバーは設楽勇さん、原正東さん、犬木拓也さん、大塚智晴さん、松村勝裕さんの5名で、大学院工学研究科博士前期課程電子情報メディア工学専攻に在籍している。

受賞プラン名は「高齢化が懸念される旧式大型団地の地域丸ごと見守りステーション化」。高齢化や建物老朽化が進む団地を想定した、無線技術による見守りシステムを提案。既存サービスに比べて工事費や運用コストを低く抑えることができ、耐障害性や拡張性が高い点が高く評価された。

東京デザインウイーク火災事故に関する
ご報告と調査委員会設置について

本学は、昨年11月6日「東京デザインウイーク」に出展した作品により、死傷者を伴う重大な事故を引き起こしました。

亡くなられたお子様のご冥福をお祈りいたしますとともに、ご遺族に対し衷心よりお詫び申し上げる次第です。

今回の事故は、全面的に本学がその責任を負うものであり、作品の制作に自発的・積極的に参加した学生に最終的な責任を問うべきではないと考えております。

現在、継続して警察等の調査に全面的に協力しておりますが、長期に渡ることも予想されることから、その調査の結果を待って事故の概要を改めてご報告いたします。

なお、本学としましては、昨年12月1日付で第三者を入れた調査委員会を設置し、再発防止に向けた取組みを開始しております。

日本工業大学

留学生別科修了式
3カ国の10名修了

修了式は3月1日、学友会館にて執り行われ、1年の課程を修めた修了生7名のほか、半期進学成績優秀者3名が出席した。出身国別では中国6名、台湾2名、タイ2名。

修了生たちは成田学長から修了証書を授与されたあと、学長や柳澤理事長から激励の告辞を受け、今後の目標への決意を新たにした。進路としては本学への進学が6名、日本語学校入学が2名、就職が2名、帰国が1名となっている。

式後には祝賀会が催され、修了生達は恩師や在校生から祝福を受けた。

成田学長から修了証を受け取る修了生

県税事務所より感謝状　租税教育を評価

本学では平成25年度より埼玉県・春日部税務署と協力し「キャリアデザイン」、「現代社会の諸問題」の授業の1コマを割いて租税教育を行っている。この取り組みが評価され、埼玉県より県税納税協力団体「一般納税協力団体の部」において感謝状が贈られた。

10月17日に知事公館において表彰式が行われ、授業を担当する共通教育系の菊地信一教授が出席。上田知事から感謝状を授与され、受賞者代表として謝辞を述べた。

感謝状を授与される菊地教授

ビジネスプランコンテスト 受賞者決定
学長賞は鉄道模型のレンタル事業

12月24日、一次・二次の書類選考通過者による最終プレゼンテーション審査が実施され、表彰式が行われた。今回は220件の応募のうち、受賞は14件（下表）。最優秀賞となる「学長賞」は笠田涼太君が受賞し、起業家支援財団「学生起業家支援事業奨学金」も獲得した。大型鉄道模型レンタルなどに関する提案で「日工大生らしいプラン」と評された。

審査結果	氏名	プラン名
学長賞 ※学生起業家支援事業奨学金にも採択	笠田　涼太	大型鉄道模型のレンタルレイアウトと大型鉄道模型の製作にまつわる体験型娯楽施設の開業
NITEC埼玉産学交流会賞	アッサーメル アルハノフ	サウジアラビアにおけるモバイル型洗車ビジネスの展開
川口信用金庫賞	遠藤　匠	色弱を持つ人のための信号機判別補助フィルム
宮代町長賞	佐怒賀　友佑 成田　沙季	国際化社会に向けて他言語・多文化対応の接客サポートシステム
杉戸町長賞	増田　美咲	タンスの肥やしをもう一度　～リメイク着物～
審査員特別賞	窪田　稜 小宮　勇恒 中島　光希	DIYプランナー（DIY計画や案を提示する新たな仕事）及び、DIYコーナーの場所貸し
産学連携起業教育センター長賞	渡邉　嘉哉	スポーツ専用のSNSスマホアプリ
優秀賞	山浦　優	あなたの「食」は大丈夫?実践!!食育サービス
奨励賞	指田　尚樹	「のりけし」の開発及び販売
奨励賞	古澤　吉泰 蓼沼　美波 布施　拓馬	車所有者のためのドレスアップ及びチューンナップを目的とした集合整備工場・工具の貸し出し・その他オリジナルパーツの製造販売
奨励賞	召田　雄也	高校～大学～企業を繋ぐ、キャリアマッチング展示会
奨励賞	横山　隼人	高齢者支援アプリ「Aid」の開発
奨励賞	荒井　ちはる 且味　那月 中村　美有	メンズコスメ（応用化粧品）の販売
奨励賞	鈴木　康友 吉田　美幸	江戸の粋を屋形船で味わう「ENJOY EDO」舞妓さんによる英語江戸っこガイド付

人事異動

【定年退職】（3月31日付）
◆小田恭市教授（専門職大学院）
◆近江正幸教授（専門職大学院）
◆佐々木勉教授（専門職大学院）
◆田中隆治准教授（英語教育センター）
【退職】（3月31日付）
◆三宅正二郎教授（創造システム工学科）
◆髙橋明遠教授（電気電子工学科）
◆正道寺勉教授（情報工学科）
◆波多野純教授（生活環境デザイン学科）
◆寺尾裕教授（共通教育系）
◆西村誠介教授（超高電圧研究センター）
◆國弘保明講師（共通教育系）
◆金野千恵助教（生活環境デザイン学科）

大学入試センター試験
滞りなく終了

試験は1月14日、15日の両日にわたって実施され、本学は同試験の試験会場となった。両日とも定刻どおり、各教科の試験が行なわれた。

国外出張

◆神林靖准教授（情報工学科）／出張先＝韓国（10／9～10／11）／目的＝「第2回大規模オープンオンライン大学講座アジア太平洋会議」に出席
◆古閑伸裕教授（機械工学科）／出張先＝中国（10／25～10／27）／目的＝武漢華中科技大学招待講演
◆進藤卓也助教（電気電子工学科）／出張先＝韓国（10／25～10／28）／目的＝2016年IEEE回路とシステムに関するアジア太平洋会議
◆神野健哉教授（電気電子工学科）／出張先＝韓国（10／26～10／28）／目的＝同前
◆神野健哉教授（電気電子工学科）／出張先＝中国（11／2～11／4）／目的＝協定機関・業務委託機関における留学生入試及び学生募集活動等
◆徐華准教授（建築学科）／出張先＝中国（11／2～11／4）／目的＝同前
◆呉志良教授（共通教育系）／出張先＝中国（11／2～11／13（実質6日間））／目的＝同前
◆大野修一准教授（共通教育系）／出張先＝韓国（11／2～11／6）／目的＝韓国・高麗大学のB・チェ教授Hクウ教授との共同研究
◆張暁友教授（機械工学科）／出張先＝中国（11／2～11／7）／目的＝放電加工用磁気駆動アクチュエータに関する招待講演及び研究打ち合わせ
◆西本真一教授（建築学科）／出張先＝タイ・カンボジア（11／3～11／10）／目的＝タイ・カンボジア建築調査
◆神林靖准教授（情報工学科）／出張先＝オーストラリア（11／15～11／20）／目的＝第20回知能進化システムアジア太平洋国際会議にて研究発表
◆加藤史仁准教授（機械工学科）／出張先＝韓国（11／16～11／18）／目的＝第37回超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウムにおける研究発表
◆西村誠介教授（超高電圧研究センター）／出張先＝イタリア（11／19～11／24）／目的＝国際電気標準会議第7技術委員会（IEC TC7）及び関連会議への出席
◆佐藤弘康准教授（共通教育系）／出張先＝韓国（11／21～11／25）／目的＝Park Jeong Hyeong教授との研究打ち合わせ及び談話会での研究発表
◆黒津高行教授（生活環境デザイン学科）／出張先＝ネパール（11／25～12／6）／目的＝ネパールの被災文化遺産保護に関する技術的支援事業に伴う調査
◆那須秀行教授（建築学科）／出張先＝ドイツ・デンマーク・オーストリア（11／27～12／4）／目的＝木質構造分野における欧州ミーティング
◆大田健紘助教（電気電子工学科）／出張先＝タイ（11／27～12／4）／目的＝第5回日米音響学会ジョイントミーティングでの研究発表
◆吉野秀明教授（電気電子工学科）／出張先＝アメリカ（12／4～12／10）／目的＝2016年IEEEグローバル通信に関する国際会議GLOBECOMの運営・委員会参加
◆丸山友希夫准教授（共通教育系）／出張先＝台湾（12／6～12／11）／目的＝第17回アジア太平洋経営工学とマネジメントシステムに関する国際会議にて研究発表
◆大宮望准教授（情報工学科）／出張先＝台湾（12／6～12／11）／目的＝第17回経営工学とマネジメントシステムに関するアジア太平洋会議における研究発表会への参加
◆辻村泰寛教授（情報工学科）／出張先＝台湾（12／7～12／10）／目的＝第17回経営工学とマネジメントシステムに関するアジア太平洋会議での大学院生発表引率
◆西尾好司教授（技術経営研究科）／出張先＝フランス・スペイン（12／13～12／18）／目的＝海外のオープンイノベーションの現状に関する調査
◆鈴木宏典教授（ものづくり環境学科）／出張先＝タイ（12／15～12／18）／目的＝アジア交通研究委員会への出席及び交通事故実態調査
◆金野千恵助教（生活環境デザイン学科）／出張先＝インドネシア（12／22～12／29）／目的＝インドネシア ジャカルタ・デンパサールにおける半屋外空間の特徴と空間利用に関する研究
◆竹村暢康准教授（電気電子工学科）／出張先＝マレーシア（1／25～1／28）／目的＝国際会議MJWRT2017における調査
◆田中隆治准教授（英語教育センター）／出張先＝カナダ（1／28～2／25）／目的＝海外英語セミナー参加学生の現地指導及び支援
◆石原次郎教授（情報工学科）／出張先＝フィンランド（2／13～3／2）／目的＝Art Archipelago Art Residency in Korpoでの制作活動
◆山中章子准教授（共通教育系）／出張先＝カナダ（2／15～2／26）／目的＝海外英語セミナー参加学生の現地指導及び支援
◆神林靖准教授（情報工学科）／出張先＝スペイン（2／21～2／24）／目的＝第3回ハーモニー探索アルゴリズム国際会議にて研究発表
◆神林靖准教授（情報工学科）／出張先＝ポルトガル（2／25～2／28）／目的＝第9回エージェントと人工知能国際会議にて研究発表
◆木村貴幸准教授（電気電子工学科）／出張先＝アメリカ（2／27～3／4）／目的＝2017年信号処理学会非線形回路、通信、信号処理に関する国際会議で研究発表
◆松浦隆文助教（情報工学科）／出張先＝アメリカ（2／27～3／4）／目的＝同前
◆正道寺勉教授（情報工学科）／出張先＝タイ（2／28～3／4）／目的＝本学特別研究員Dr. Ruengsak Kawtummachaiとの研究打ち合わせ
◆劉雯准教授（共通教育系）／出張先＝中国（3／7～3／17）／目的＝工学系女子学生の専攻分野選択の要因分析に関する研究
◆黒津高行教授（生活環境デザイン学科）／出張先＝ネパール（3／10～3／20）／目的＝台湾（3／12～3／16）／目的＝台湾における住宅団地及び既成市街地の経年変化と維持管理
◆樋口佳樹准教授（生活環境デザイン学科）／出張先＝ネパール（3／10～3／20）／目的＝同前
◆上田学助教（建築学科）／出張先＝ネパール（3／10～3／20）／目的＝同前
◆佐々木誠教授（建築学科）／出張先＝台湾（3／12～3／16）／目的＝台湾における住宅団地及び既成市街地の経年変化と維持管理

新学部学科※初公開！オープンキャンパス
3/25（土）
新学部学科※紹介、研究室ツアー
体験授業、個別進路相談など
※2018年4月設置構想中、内容は予定であり、変更となる場合があります。

宮代町だより 205号
春の宮代は桜の街「桜市2017」

もうすぐ桜の季節がやってきます。4月1日10時から、笠原小学校前の桜並木の下で、恒例の「桜市」が開催されます。地元商業者等による出店をはじめ、子どもたちによる日本舞踊やヒップホップダンスの発表、小中学生による楽器の演奏等が行われます。コスプレをした参加者も多く、毎年大変賑わっています。ご家族やご友人と一緒に是非ご来場頂き、美しい桜を眺めながら春の宮代をお楽しみください。「桜市」の詳細は、広報みやしろ3月号や町ホームページで紹介しています。

編集後記

▼大相撲初場所は稀勢の里の初優勝で幕を閉じたが、その後の横綱昇進で相撲人気は復活模様だ▼東関部屋はご存知だろうか。その部屋に代々伝わっている「十の心」なる言葉がある▼①「おはよう」という親愛の心②「はい」という素直な心③「すみません」という反省の心④「どうぞ」という謙譲の心⑤「私がします」という奉仕の心。まさに「礼に始まり礼に終わる」相撲道を彷彿させる内容が続く▼⑥「ありがとう」という感謝の心⑦「お陰さまで」という謙虚な心⑧「お疲れさま」という労りの心⑨「なにくそ」という忍耐の心⑩「嘘をつくな」という正直な心▼卒業生の皆さんは、これから社会の荒波に、もまれることもあるだろう。何かに悩んだ時、落ち込みそうな時に助けてくれるのは皆さんの大学時代の友人かも知れぬ▼「十の心」を持ち続け相手を思いやる気持ちを忘れずに生きてほしい【信】